

Court Installation vol.20 NISHITA Takuji

lost treasure

2024.4.27 sat. – 11.24 sun.

休館日 月曜日 *月曜日は開館し、その翌平日は休館

開館時間 午前9時30分～午後5時 *最終入場は閉館の30分前

会場 苫小牧市美術博物館 中庭展示スペース（北海道苫小牧市末広町3丁目9番7号）

観覧料 [4/27～6/28, 8/27～11/24] 一般300(240)円/高大生200(140)円

[6/29～8/25] 一般600(500)円/高大生400(300)円

*中学生以下はいずれの期間も無料です。

*（ ）内は10名以上の団体及び前売券の料金です。

*観覧料の免除規定についてはお問い合わせください。

*常設展示及び同時開催の特別展・企画展・収蔵品展もあわせてご覧いただけます。

*年間観覧券でもご覧いただけます。

ただし、[6/29～8/25]の期間は一般300円、高大生200円でご覧いただけます。

*5月5日、11月3日は無料でご覧いただけます。

掲載図版

西田卓司《bamboo city》2021年

札幌アートステージキッズアートフェス出品作品

作家蔵 【参考作品】

苫小牧市美術博物館

Tomakomai City Museum [愛称:あみゅー]



Court Installation vol.20 NISHITA Takuji

lost treasure

「中庭展示 — Court Installation」は、当館の中庭展示スペースにおいて、その空間を活用したインスタレーションを紹介するシリーズ企画です。第20回目となる今回は、既存のイメージを素材としながら鮮やかな色調の作品を制作している西田卓司（1983～）の新作を紹介します。

絵画制作とインスタレーションの両輪を軸に横断的な創作活動を展開する西田は、マスキングテープを援用したスケッチ、あらかじめ色数や点数などを定めた絵画、そして、カラフルなプラスチック製品を組み合わせたインスタレーションなどを手がけています。

「lost treasure」と銘打つ本展では、黄色いプラスチック製のコンテナボックスなどを無数に積み上げることで、城や王冠のようなイメージを形成する新作インスタレーションを紹介します。

自らの表現手法のバリエーションとして、既製品の引用やその再構築を試みることの多い西田は、その行為自体を幼少時代に親しんだ積み木やブロック遊びに通ずるものとして捉え、過去と現在の自分をつなぐ一つの方法として位置づけています。「lost treasure=失われた宝物」という本展のテーマには、日常的に「コピー & ペースト」を繰り返す作者のリアリティと同時に、幼少期特有の想像力に満ちた原体験を探求する衝動が含まれています。一方で、西田が多用するプラスチックの鮮烈な色彩には、明るさや華やかさのみならず、消費の対象としての人工物が放つ違和感や儚さ、危うさといった懐疑的な視点も込められています。

この機会に、西田のカラフルな作品世界に仮託された、幼年時代への追憶や消費社会に対する洞察などを感じてみてください。



①



② JRタワー ART BOX 出品作品【参考作品】



③

①③《中庭展示イメージスケッチ》2024年 | ②《カラフルから降るカラー》2013年 ※いずれも作家蔵

西田卓司 | NISHITA Takuji プロフィール | Profile

看板や既存のイメージ、既製品をもとにポップな色彩の平面作品、インスタレーションを制作。札幌市を中心に制作活動を行っている。naebono アートスタジオ共同運営メンバー。

1983年 北海道札幌市生まれ

2007年 北海道教育大学札幌校芸術文化課程
美術コース油彩専攻卒業

2009年 北海道教育大学大学院教育学研究科教科教育専攻
美術教育専修西洋画研究修了



■ 主な個展

- 2010年「ワーキング フロー」 テンポラリースペース（札幌）
- 2012年「ワーキング ループ」 CAFE らてるね（札幌）
- 2013年「JRタワー ARTBOX カラフルな降るカラー」（札幌）

■ 主なグループ展

- 2008年「Point of Color」 CAI02（札幌）
- 2010年 岩見沢アートプロジェクト「ZAWORLD II」
岩見沢市内各所（岩見沢）
- 2011年「Asian Art Way in Shanghai 2011」
半島1919 日本文化村（上海、中国）
- 2012年「日常の冒険—日本の若手作家たち—」
札幌大通地下ギャラリー500m 美術館（札幌）
「絵画の場合 2012 最終章」
北翔大学北方圏学術情報センターポルトギャラリー（札幌）
- 2018年「絵画の現在地」
札幌大通地下ギャラリー500m 美術館（札幌）
- 2021年「VOCA展 2021 現代美術の展望—新しい平面の作家たち—」
上野の森美術館（東京）

アクセス

◆お車でのご越しのお客様：国道276号（支笏湖通）と国道36号の交差点（「苫小牧信用金庫中野支店」かど）を港方向へ曲がり、交差点の次の信号を右折。出光カルチャーパーク内に駐車場（料金無料、約50台駐車可）があります。

◆バスでお越しのお客様：苫小牧駅南口より、のりば①から「24番」「30番」「札幌駅前前行」「郊外線（静内・平取行）」、のりば③から「13番」「14番」に乗り、「出光カルチャーパーク」で下車（所要時間約5分、料金230円）、下車後徒歩約5分

※バスダイヤの改正により、バス路線等が変更になる可能性があります。あらかじめご了承ください。

苫小牧市美術博物館

Tomakomai City Museum [愛称：あみゅー]

〒053-0011

北海道苫小牧市末広町3丁目9番7号

Tel: 0144-35-2550 / Fax: 0144-34-0408

www.facebook.com/tomakomai.museum

@tomakomai_amy

苫小牧市美術博物館 https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/hakubutsukan



公式ホームページ

